



2016年9月21日

報道各位

エアロセンス 株式会社

エアロセンスの自律型ドローンを活用した「海岸保安林のマツ枯れ対策」プロジェクトを新潟市・ドコモ・ベジタリアと共同で開始 ～低コストで迅速・確実なマツ枯れ被害の低減に向けて～

エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下、エアロセンス）は、新潟市（新潟市長：篠田昭）、株式会社NTTドコモ（東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤和弘、以下、ドコモ）、ベジタリア株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：小池聡、以下、ベジタリア）と「海岸保安林プロジェクト（ドローンを活用した海岸保安林のマツ枯れ対策及び維持管理の手法開発実証）」に関する連携協定書を締結しました。

全国の海岸保安林は、毎年約50万㎡のマツ枯れ被害にあっており、これまで被害木の伐倒駆除にあたっては、被害状況を目視によって確認し、作業をしておりました。今回、ドローンに搭載したカメラからの空撮画像の分析結果とGPSによる位置情報を用いて、よりの確に被害木をピンポイントで特定することが期待できます。また、空撮画像を立体視して被害木の高さを測定する取り組みも予定しており、伐採業者による被害木の高さを測定する作業が省略でき、低コスト化につながります。

マツ枯れ被害を低減し、松林の保全・維持に貢献していくべく、エアロセンスの自律型ドローンを活用した新たな維持管理手法を以下の体制で確立していきます。

エアロセンス	自社製の自律型無人航空機システム（マルチコプター型）の活用
新潟市	実験圃場の提供及び規制緩和の提言
ドコモ	画像データの分析
ベジタリア	植物医師による画像の診断及び立体視による新しい材積算出策定

■本件に関するお問い合わせ先■

エアロセンス株式会社

東京都文京区小石川五丁目41番10号

TEL: 03-4405-8535、www.aerosense.co.jp

i 林野庁「平成 27 年度森林病虫害被害量」全国の松くい虫被害量（被害材積）の推移

参考資料 1：マツ枯れの例（エアロセンスによるドローン空撮・オルソ生成）



参考資料 2：プロジェクト概念図（提供：ドコモ）

